

事業テーマ

障害者関連事業で商品と顧客サービスを革新する就労支援事業

[対象類型] 革新的サービス

本事業への取組みの経緯・目的

当社は平成2年創業以来、障害者や高齢者の訓練機器と出版物を製造・販売・普及してきました。主力事業の障害者就労支援器具は、就労希望障害者の適性を見極め、その可能な能力を訓練により就労レベルまで向上させ、企業への就労を支援することを目的としています。

これまで販売中の「ワークサンプル幕張版」は、障害者の就労支援を目的として独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構・障害者職業総合センターが長年にわたって研究・開発してきました。当社は

障害者職業総合センターと契約し「ワークサンプル幕張版」を国内単独で製造・販売してきました。また、全国の公共就労支援機関や障害者雇用に積極的な民間企業に販売・普及活動をしており、各地での展示会に出展し、体験会を行なっています。

今回、障害者就労支援器具のより一層の普及のため、障害者就労支援器具の一部の改良を行なうとともに、普及活動においてIT活用による疑似体験システム等の構築とHP広告の改善を目指しました。

実施内容

本事業では、障害者就労支援のために以下の2点を実施しました。

(1)「ワークサンプル幕張版」において、使用する30段棚の改良を行ないました。

既存の台湾製木製棚の重量が重く、移動等の利便性が悪い点の改良をするため、国産のプラスチック製棚に変更しました。30段プラスチック棚の類似品は国内市場では見られません。

まず、プラスチック製への変更に伴い、既存の木製棚を参考に、全体のデザインの確定と30段でも耐久性のある強度と構造設計を行ないました。特にプラスチック製で30段の高さを確保するための縦・横方向への耐荷重設計とキャスター部分の構造設計に工夫をしました。

これらの構造設計に基づき金型製作を行ない、射出成型によるプラスチック棚のサンプルを製作しま

した。このサンプルにより使用テストを行ない、耐荷重に問題のあったキャスター部分の構造を2回変更し、30段プラスチック棚が実用水準に達していることを確認しました。

(2)就労支援器具「ワークサンプル幕張版」体験会の内容の一部をWeb上で実現させました。

これまでの対面式の体験会で行なってきた課題の中からWeb上で実施可能な課題を選択し、専用Webサイトに本人参加型の疑似体験システムを設計・構築しました。疑似体験における課題実施のため、印刷データをユーザーがダウンロードし、印刷して使用する仕組みにしました。また、画面上の動画の指示を見て体験する仕組みも導入し、体験実施が不可能な2種類の課題は実施場面の動画を掲載しました。

事業実施の成果

障害者就労支援器具の改良では、台湾産木製棚を国産プラスチック製棚にしたことにより軽量化と高品質化、低コスト化が実現し、今後の就労支援場面の利便性が向上しました。

IT活用による「ワークサンプル幕張版」の普及促進への取り組みでは、ホームページ上に疑似体験サイトを構築しました。これまで対面でしか対応でき

なかった体験の一部をWeb上で実現し、大きな用具を使用する必要があり疑似体験が難しい作業課題では、動画を見てもらう方法にしました。就労支援用具を分かり易く説明し、簡単な疑似体験をすることができます。今まで対面式で2時間かかっていた体験会ですが、Web上でほとんど実現可能となりました。

[主な事業・業種]

映像・音声・文字情報制作業
出版業

[得意分野]

障害者用各種出版、
検査・訓練用具開発

所在地：[本社／事業実施場所]

〒292-0825 千葉県木更津市畑沢2-36-3

T E L：[本社／事業実施場所] 0438-30-3090

F A X：[本社／事業実施場所] 0438-30-3091

E-mail：info@escor.co.jp

設 立：平成2年4月10日

代表者：代表取締役 鈴木 弘二

従業員数：16名

資本金：1,000万円

売上高：2億9,341万円(平成26年度)

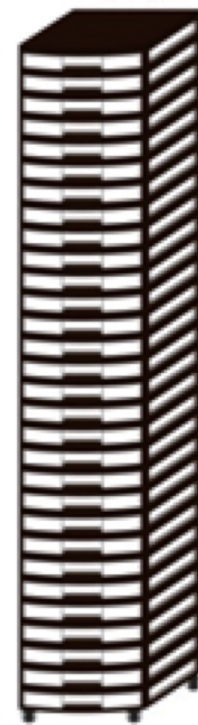
今後の展望

すでに就労支援器具のプラスチック棚と疑似体験サイトの事業化は始まっています。

今後は、高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者職業総合センターの指導を受けながら、2～3年計画で、障害者の就労支援を進める特別支援学校、就労支援機関や民間企業の特例子会社、大学付属病院

リハビリ部門などへ普及活動をすすめ、その中でユーザーの意見を聞きながら改良を続けていきます。

このような就労支援器具の改良とIT活用によるWeb疑似体験システムなどの普及活動により、障害者の就労を支援し、障害者が働きやすく住みやすい社会推進の一翼を担っていきます。



プラスチック30段棚



就労支援器具「ワークサンプル幕張版」疑似体験サイト

社長 鈴木 弘二

障害者就労支援事業は、当社の主力事業の一つで、開発費用が膨大のために改良できずにいましたが、今回の事業により長年の念願が実現できました。今後、障害者関連事業をより一層推進する原動力になります。

担当者 鈴木 峰貴

サイト上で疑似体験できるようになったことで、今までは高額で手の出しづらかったお客様や、遠方で体験会に参加出来なかったお客様からの注文が増えています。

今後も普及活動に努め、障害を持った方が多くの企業で活躍できる社会になるように願っています。